

令和5年度 学校教育自己診断（生徒） 集計 （927名分）

昨年度

			肯定的 評価	否定的 評価	肯定的 評価
1	全般	箕面高校に行くのが楽しい。	91.6%	8.4%	91.0%
2	全般	自分の学級は楽しい。	90.9%	9.1%	90.0%
3	全般	箕面高校に入学してよかった。	93.9%	6.1%	93.9%
4	全般	先生方は、学校教育方針をわかりやすく伝えている。	82.8%	17.2%	80.9%
5	全般	箕面高校を信頼している。	81.9%	18.1%	81.3%
6	全般	箕面高校には、他の学校にない特色がある。	93.6%	6.4%	93.1%
7	学習 指導	授業はわかりやすく楽しい。	77.8%	22.2%	77.8%
8	学習 指導	学習の評価については、納得できる。	90.6%	9.4%	87.4%
9	学習 指導	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。	94.1%	5.9%	96.1%
10	学習 指導	評価の仕方や基準について、事前に示されている。	96.0%	4.0%	94.2%
11	学習 指導	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	87.7%	12.3%	86.3%
12	生徒 指導	学校生活についての先生の指導は納得できる。	82.5%	17.5%	80.3%
13	生徒 指導	先生方は、あなたのことを理解している。	79.8%	20.2%	76.1%
14	生徒 指導	先生方は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	81.2%	18.8%	76.9%
15	生徒 指導	箕面高校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	85.0%	15.0%	81.1%
16	生徒 指導	先生方は、生徒の意見を聞いてくれる。	85.3%	14.7%	85.9%
17	進路 指導	将来の進路や生き方について考える機会がある。	93.7%	6.3%	94.3%
18	進路 指導	先生方は、進路についての情報を知らせてくれる。	92.0%	8.0%	93.3%
19	進路 指導	先生方は、進路に関して丁寧に指導をしてくれる。	89.4%	10.6%	89.3%
20	教育 相談	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、相談することができる先生方がいる。	71.6%	28.4%	67.9%
21	人権	命の大切さや社会のルール等について学ぶ機会がある。	79.7%	20.3%	82.8%
22	人権	人権について学ぶ機会がある。	85.9%	14.1%	90.4%
23	いじめ	先生方は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	90.7%	9.3%	88.5%
24	学校 行事等	学校行事（体育祭、文化祭）は楽しく行えるよう工夫されている。	97.2%	2.8%	95.0%
25	学校 行事等	ホームルーム活動は活発である。	87.6%	12.4%	86.7%
26	学校 行事等	生徒会を中心とした自主的な活動が活発で、活動の大小を問わず、社会貢献活動に関わることは大切だと思う。	92.7%	7.3%	91.0%
27	国際	英語教育が充実している。	90.1%	9.9%	83.9%
28	国際	国際交流等に関する取り組みが充実している。	87.8%	12.2%	87.1%
29	情報 提供	箕面高校のホームページを見ている。	41.4%	58.6%	45.4%
30	安全 教育	箕面高校で、事件・地震や火災などが起こった場合の行動について情報提供されている。	58.7%	41.3%	56.0%
31	その他	箕面高校は、1人1台端末を効果的に活用している。	84.1%	15.9%	57.2%

令和5年度 学校教育自己診断（保護者） 集計（603名分）

昨年度

			肯定的 評価	否定的 評価	わからない	肯定的 評価
1	全般	子どもは箕面高校へ行くのを楽しみにしている。	87.9%	9.6%	2.5%	86.8%
2	全般	子どもは、自分の学級が楽しいと言っている。	84.4%	11.8%	3.8%	85.1%
3	全般	箕面高校に入学させてよかった。	91.7%	5.5%	2.8%	92.6%
4	全般	箕面高校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	77.6%	13.1%	9.3%	83.9%
5	全般	箕面高校を信頼している。	86.9%	7.6%	5.5%	88.4%
6	全般	箕面高校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。	81.8%	8.3%	10.0%	87.9%
7	学習 指導	子どもは、授業はわかりやすいと言っている。	54.7%	29.0%	16.3%	67.7%
8	学習 指導	学習の評価については、納得できる。	82.8%	7.3%	10.0%	91.6%
9	学習 指導	学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。	52.9%	35.3%	11.8%	59.3%
10	生徒 指導	箕面高校の生徒指導の方針に共感できる。	75.6%	12.1%	12.3%	86.2%
11	生徒 指導	先生方は生徒を理解している。	66.8%	10.0%	23.2%	84.3%
12	生徒 指導	先生方は子どもの誤った行動を適切に指導している。	61.4%	8.6%	30.0%	85.7%
13	生徒 指導	箕面高校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	68.7%	16.6%	14.8%	81.3%
14	生徒 指導	箕面高校の生徒指導の方針は、保護者に示されている。	65.7%	15.9%	18.4%	78.7%
15	進路 指導	箕面高校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	70.8%	13.8%	15.4%	83.5%
16	進路 指導	箕面高校は、進路指導面において家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。	53.9%	31.5%	14.6%	62.2%
17	進路 指導	先生方は、進路に関して丁寧に指導をしている。	59.4%	18.1%	22.6%	75.9%
18	教育 相談	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	57.5%	19.7%	22.7%	68.5%
19	人権	箕面高校は、子どもに命を大切にす心や社会ルール等を守る態度を育てようとしている。	58.5%	8.5%	33.0%	88.3%
20	人権	子どもは、学校に友達がいると言っている。	95.5%	3.5%	1.0%	95.1%
21	いじめ	箕面高校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、対応してくれる。	33.8%	2.5%	63.7%	83.7%
22	学校 行事等	箕面高校の学校行事（体育祭、文化祭）は活発である。	97.5%	1.0%	1.5%	93.3%
23	学校 行事等	生徒会を中心とした自主的な活動が活発である。	68.8%	3.5%	27.7%	90.5%
24	国際	英語教育が充実している。	82.3%	6.8%	10.9%	89.6%
25	国際	国際交流等に関する取り組みが充実している。	90.5%	2.9%	6.6%	93.5%
26	情報 提供	箕面高校のホームページを見ている。	64.5%	34.5%	1.0%	60.2%
27	安全 教育	箕面高校は、地震や火災などの場合、どのような行動をとれば良いか、情報提供を行っている。	37.5%	17.6%	44.9%	65.3%
28	PTA	箕面高校のPTA活動は積極的に行われている。	52.7%	7.0%	40.3%	78.1%
29	PTA	箕面高校の授業参観や学校行事を見学したり、参加をしたことがある。	85.4%	14.4%	0.2%	63.4%
30	情報 提供	箕面高校は、教育情報について、提供の努力をしている。	74.6%	10.0%	15.4%	62.1%
31	その他	箕面高校は、1人1台端末を効果的に活用している。	63.3%	12.9%	23.7%	67.5%

*回答項目には「わかりません」を加え、5件法としています。

令和5年度 学校教育自己診断 (教員) 集計 (43名分)

昨年度

			肯定的 評価	否定的 評価	肯定的 評価
1	学校組織	箕面高校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	90.7%	9.3%	88.2%
2	学校組織	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	76.7%	23.3%	76.5%
3	学校組織	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	81.4%	18.6%	76.5%
4	学校組織	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	90.7%	9.3%	82.4%
5	学校組織	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	74.4%	25.6%	76.5%
6	学校組織	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	55.8%	44.2%	52.9%
7	教育活動の改善	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	79.1%	20.9%	70.6%
8	学習指導	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	83.7%	16.3%	82.4%
9	学習指導	各教科において、教材の精選・工夫を行っている。	100%	0%	88.2%
10	学習指導	授業で生徒が考えをまとめたり、発表する機会を設けるなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	95.3%	4.7%	100%
11	学習指導	評価の在り方について話し合う機会がある。	93.0%	7.0%	88.2%
12	学習指導	評価の仕方や基準について、事前に生徒に示している。	90.7%	9.3%	94.1%
13	生徒指導	箕面高校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	97.7%	2.3%	94.1%
14	生徒指導	教職員は生徒の意見をよく聞いている。	95.3%	4.7%	88.2%
15	生徒指導	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	79.1%	20.9%	82.4%
16	生徒指導	箕面高校では、生徒指導において、家庭との連携ができています。	88.4%	11.6%	88.2%
17	生徒指導	箕面高校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	55.8%	44.2%	52.9%
18	進路指導	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	83.7%	16.3%	64.7%
19	進路指導	箕面高校では、進路指導において、家庭との連携ができています。	81.4%	18.6%	82.4%
20	教育相談	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	93.0%	7.0%	100%
21	人権	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	72.1%	27.9%	64.7%
22	いじめ	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができています。	93.0%	7.0%	94.1%
23	学校行事等	学校行事(体育祭、文化祭)が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	100%	0%	100%
24	学校行事等	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	74.4%	25.6%	76.5%
25	学校行事等	学校として、生徒会活動の活性化について工夫している。	83.7%	16.3%	88.2%
26	国際	英語教育が充実したものとなるよう、工夫・改善を行っている。	93.0%	7.0%	94.1%
27	国際	国際交流や異文化理解に関する取り組みが充実したものとなるよう、工夫・改善を行っている。	93.0%	7.0%	94.1%
28	情報提供	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	88.4%	11.6%	100%
29	情報提供	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。	100%	0%	100%
30	安全教育	事故、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	76.7%	23.3%	82.4%
31	その他	1人1台端末を効果的に活用している。	79.1%	20.9%	64.7%

令和5年度学校教育自己診断の結果と分析

例年と同時期の12月にGoogleフォームで実施しました。質問数は31項目です。

生徒927人、保護者603人、教職員43人から回答を得ることができました。多くの皆様に協力いただき、本当にありがとうございました。今回の結果を真摯に受けとめ、改善できる点は改善をはかり、良い評価をいただいた点は引き続き伸ばしていき、箕面高校のさらなる発展に努めてまいりたいと考えております。今後も引き続き、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(全体としてのまとめ)

前年度と比較して、肯定的評価がupした項目数とdownした項目数は、次のとおりである。

1年生は前年度1年生との比較、2・3年生および教員は経年推移としている。

【生徒】up/down(カッコ内は前年のもの)

1年:15/16(9/21)

2年:14/17(9/21)

3年:25/6(10/20)

【保護者】

1年:7/23(28/7)

2年:14/17(26/4)

3年:19/11(19/11)

【教員】

16/13(13/17)

生徒の肯定的評価が高くなった一方で、保護者・教員の肯定的評価は前年より低いものとなった。特に、学校から保護者への情報発信に課題があると考えられる。

(生徒による評価)

1年生で肯定的評価が大きく上がった項目は、「14.先生方は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる(83.1%)」「16.先生方は、生徒の意見を聞いてくれる(89.7%)」とあることから、生徒と担任団を中心として教員の関係性が良好であることが分かる。しかし、その一方で「20.担任の先生以外にも保健室や相談室等で、相談することができる先生方がいる(67.0%)」ということから、担任外の先生との関わりの場を増やす工夫が必要である。

2年生で肯定的評価が大きく上がった項目は、「11.授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。(89.0%)」「31.箕面高校は、1人1台端末を効果的に活用している。(87.3%)」であった。他の学習指導に関する項目も増加傾向にあったことから、本校での学習活動・内容が浸透し、理解を得られていることが分かる。その一方で生徒指導に関する肯定的評価が微減となり、学校生活への慣れが気のゆるみにつながり、指導される機会が1年時より増えた生徒が一定数いるものと考えられる。また、人権に関する項目が大きく減少したのは、2年生の人権講演会が3学期に設定されているため、生徒も肯定的評価をつけることができなかつたためだと考えられる。

3年生は2年時に比べて肯定的評価が大幅に増えている。箕面高校での学びも3年目となり、行事での活躍や進路決定に向けて級友・保護者・先生と共に活動し、情報を共有することが増え、前向きに学校生活をとらえることができているものと考えられる。肯定的評価が下がった項目は「9.授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。(90.6%)」「27.英語教育が充実している(88.5%)」「31.箕面高校は、1人1台端末を効果的に活用している。(76.6%)」は教育課程により演習科目が増え、機会が減少したことが考えられる。また、「28.国際交流等に関する取り組みが充実している。(88.5%)」については、国際交流に関するプログラムが1・2年生を中心としたものであることから3年生自身にその機会がないことが影響している。

(保護者による評価)

全学年共通として、「29.箕面高校の授業参観や学校行事を見学したり、参加をしたことがある。」の肯定的評価が昨年度の70%から85.4%と大幅に増加した。新型コロナウイルス感染症による活動制限が撤廃されたことによるものであり、多くの保護者の方に学校に来ていただく機会を持つことができた。今後もさらに多くの保護者の方に学校に来ていただくよう、工夫していきたい。

生徒との回答に開きがあったのは、「7.子どもは、授業はわかりやすいと言っている。」の項目で、生徒の「7.授業はわかりやすく楽しい。」の肯定的評価が77.8%であったのに対し、保護者の肯定的評価が54.7%であった。「授業」と一口に言っても多くの科目があり、その分析は非常に難しいが、保護者の方からの叱咤激励と受け止め、さらなる授業改善に励みたい。また、「31.箕面高校は、1人1台端末を効果的に活用している。」では生徒の肯定的評価は84.1%、教職員は79.1%に対して、保護者は63.3%にとどまった。授業での活用は増えているが、自学での利用頻度が少なく保護者の方の目に触れる機会が少ないのかもしれない。

次に、肯定的評価が昨年度より低下した項目として、「21.箕面高校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、対応してくれる。(83.7%→33.8%)」「27.箕面高校は、地震や火災などの場合、どのような行動を取れば良いか、情報提供を行っている。(65.3%→37.5%)」「28.箕面高校のPTA活動は積極的に行われている。(78.1%→52.7%)」などがあげられる。これは選択肢5の「わからない」を選んだ方が63.7%、44.9%、40.3%と多くなっていることが一因として挙げられる。また、全体を通して情報発信に関する項目での肯定的評価が低かったことから、本校からの情報発信の現状には大きな課題がある。

学校からの連絡は現在、メールを中心としているが、「26.箕面高校のホームページを見ている。(64.5%)」と多くの保護者の方に見ていただけていることから、保護者の皆さまへの連絡手段の一つとしてホームページの有効活用を検討する。

また、アイデアやご意見も多く寄せられた。具体的には、半日授業の多さ、生活態度への指導、教室におけるガバナンス、学習サポートのための補講の必要性などである。これらの点についても十分留意していきたい。

ここからは各学年の分析を行う。1年生保護者は、全体的な傾向としては昨年度の1年生保護者と同じような傾向で評価をしていただいているが、総じて肯定的評価が下がった。入学時に対面にて多くの情報提供を行っているが、その後も継続的な情報提供の必要がある。

特に、進路指導に関する項目は10ポイントの減と大きく下がっており、「分からない」という回答も多かった。生徒向けには発信しているものの、保護者の方に向けて進路指導をどのように発信していくかという面にはまだまだ課題がある。

2年生保護者での肯定的評価上がった項目は「13.箕面高校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。(67.0%→73.3%)」であった。本校での指導に対して保護者の方のご理解と協力を得られているものと推察できる。

一方、その他の生徒指導、学習指導、進路指導については、1年生と同様の傾向がみられた。

3年生保護者は、3年生生徒と同様の傾向がみられ、肯定的評価のupが多い結果となった。学習指導、生徒指導はほとんど肯定的評価がupした。特に大きく上がった項目としては、「7.子どもは、授業はわかりやすいと言っている。(56.2%→63.4%)」「18.子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。(54.2%→61.4%)」があげられる。学校での様子が生徒を通じて保護者に伝わっていることが垣間見え、保護者の方からの相談に教員が適切に対応できていることが分かる。今後も丁寧な情報共有を続けていき、保護者との関係性をより良好なものにしていきたい。

(教職員による評価)

肯定的評価が大きくupした項目は、「18.生徒一人ひとりが興味・関心、適正に応じて進路選択できるよう、きめ細かい指導を行っている。(64.7%→83.7%)」「31.1人1台端末を効果的に活用している。(64.7%→79.1%)」「9.各教科において、教材の精選・工夫を行っている。(88.2%→100%)」であった。進路指導においてはHRや個人面談等を通じて丁寧に対応している。また、教材やICTの活用など授業改善に努めている。一方、「28.教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(100%→88.4%)」については、周知の課題は保護者の結果との共通項として浮かび上がるものであり、喫緊の課題であると考えられる。また、「20.教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(100%→93.0%)」については、担任と生徒の関係性がしっかりできている反面、業務平準化という観点では偏りが発生してしまう側面もあるので、副担任を含めた学年団の教員が生徒と関わる機会を設けることも必要だと考える。